

授業の玉手箱

教室に時事英語を

東條 加寿子

世界で起こっている出来事を英語で知り、理解し、考えていくことは英語の授業をより豊かにする。英語のニュースは、時事英語、ニュース英語、メディア英語など種々の呼び名があるが、英語学習の格好の教材である。VOA (Voice of America) から衛星放送のニュースの時代を経て、今日ではインターネットを介して様々なニュースソースがライブで活用できる。こういった英語のニュースをなんとか理解しようと懸命に英語に取り組んだ経験のある教員も多いことだろう。(私の場合は、アメリカ ABC 放送のアンカーマン、ピーター・ジェニング氏の英語に魅了されて今日がある。)

時事英語は日々の授業のなかでもっと積極的に活用したいものである。特に、テレビニュースやインターネット上のニュースサイトがお薦めである。実は、ニュース英語は物語や論説文などと比べると平易な英語構文になっている。考えてみれば、テレビのニュースは英語圏のお茶の間に流れるわけだから、老若男女、誰にでも理解できる平易で明瞭な英語情報として伝えられるのは当然のことである。また、ニュースはその進展が繰り返されるので、その過程で内容理解が促進され用語習得が定着することが期待される。

実際に授業で用いる際には、

- 1) ニュース (出来事) にかかわる用語を押さえる
- 2) ニュースの内容を理解する
- 3) リスニングなどのスキルの観点からニュースを聞く (読む)
- 4) ニュースの切り口を考える

といった手順で取り扱うことになろう。特に、4) で示すように、英語で伝えられるニュースの切り口の違いや、なぜそのような報道をするのかについても是非一考を加えたいものである。このことよって、英語という言語の本質や文化の違いが見えてくる。一例を挙げると、今年6月の首相交代のニュースは各国の英語ニュースでも伝えられた。日本では普天間基地移設問題の責任をとっての首相辞任という切り口であったが、例えば CNN のニュースでは、なぜ日本ではこのように度々の首相交代があるのか、こんなに交代して経済問題はどうか、といった視点からの報道であった。こういった報道に接することによって、私たちは、アメリカではたとえどのような失策があっても大統領は4年間の任期に決って交代することはないという制度上の相違を改めて認識することができる。

テレビ局のニュースサイトとしては BBC や CNN がよく知られているが、最近の傾向は、これらのニュースサイトで Learning English (BBC) や Student News (CNN) など学習者向けのサイトが提供されていることである。(CNN Student News ではアメリカ国内の中高生の時事問題意識向上を意図している側面も窺える。) これらのサイトでは生徒・学習者向けに分かりやすくニュースが書き下ろされ、動画の transcript がある上、用語の意味や単語の発音が自学自習できたり、メールで自分の意見を投稿するページもあって、英語学習にとって利便性と効果が高いインターフェイスが工夫されている。世界中の英語学習者・英語教育者が繋がっているという一体感が得られるのも、このようなサイトの活用の利点である。是非一度、ニュースサイトを探索していただきたい。

BBC Learning English:

<http://www.bbc.co.uk/worldservice/learningenglish/>

CNN Student News:

<http://edition.cnn.com/studentnews/>

* 大阪女学院大学の教職ネット HP には「教室に時事英語を」のページがあり、BBC や CNN のニュースを随時紹介している。
<http://www.wilmina.ac.jp/ojc/edu/ttc/active/05>

書籍紹介

『外交官の「うな重方式」英語勉強法』

多賀敏行著 (2008) 文春新書 720 円 + 税

長年外交官を務めた著者による、自身の英語勉強法や自身・他者の英語使用を見聞きする中で培ったエピソードが紹介されています。タイトルにある「うな重方式」とは、うな重が「ウナギ・タレ・ご飯が一緒に食べられるところに美味しさと魅力があること」とリンクしています。英単語学習も、ターゲットの単語を文から切り離して丸暗記するよりも、例えば動詞ならば、文中でどのような主語や目的語と共起するか、文のテーマは何であるかなど他の要素と関連付けて学習する重要性を説いています。その他にも、カタカナ英語が英語学習に及ぼす弊害や、語源学習法の意義、冠詞の a, the の差異などについても広く、わかりやすい例を使用して紹介されています。高校生にも十分理解でき、なおかつ「ハッとする」ヒントが見出せる一冊だと思われます。

(夫 明美)



編集後記

教職課程 夏季特別講座「教育と人間」

今夏、教職課程履修 (希望) 学生対象に夏季特別講座「教育と人間」を開講した。中学校から狩野典子先生 (兵庫県三木中学校)、高校からは山崎政範校長先生 (大阪府立門真西高校) の両先生にこれまでの経験を通じた教員としての歩みについてお話願った。狩野先生の話には、「涙が出そうになるのをぐっとこらえて、話を聞いていました。教師になることをあきらめようかなと思った時もありましたが、やっぱり教師になりたいと思わせていただきました」「33年間『教師』という仕事をされての体験をお話していただいて、改めて『教師』という仕事の厳しさの現実や嬉しい時の出来事を知ることができました。狩野先生のような先生になりたいです」、山崎先生の話には、「心の荒れた生徒に暴言を吐かれても、そこでひるまず生徒との関わりを断たないというのがすごいな、想いが強いのだなと思った。また、そのような姿勢が信頼関係に繋がっていくのだなと思った」「生徒は一人ひとり個性があり、考えがある。その一人ひとりの未来を考えて背中を押すのが教師なんだと思いました」など、受講者全員が両先生の話に感銘を受けた。教育は、やはり現場が一番大切だと確信を持った。我々、教員養成センターも学校現場第一に、実際の課題に目を向け、どうすれば少しでも改善に繋がるのか、そういう視点で様々な教育課題改善への研究・啓発に取り組みたい。(つ)

大阪女学院大学・大阪女学院短期大学
教員養成センター Teacher-training Center

540-0004 大阪市中央区玉造2丁目26番54号

Tel: 06-6761-9371 Fax: 06-6761-9373

Homepage: <http://www.wilmina.ac.jp/ojc/edu/ttc>

e-mail: ttc@wilmina.ac.jp